



国際会長ニュース

2025年2月



A・シャナヴァスカーン
2024/25 国際会長

国際会長メッセージ

親愛なる世界中のワイズメン、ワイズウィメンの皆さま

2025年も2ヶ月目に入りました。アジア太平洋地域にお住まいの多くの会員の皆さまは、先ごろ旧正月を迎え、喜びと楽観的な気持ちで巳年を迎えられました。この新しい年が、すべての人々にとって繁栄と祝福、そして豊かな機会をもたらすものでありますように。

ノルウェーのヨハン・ウィルヘルム・エルトヴィックが、2025/2026 年度次期国際会長(IPE)に選出されました。私たちは、彼をYMIの指導者チームに温かく迎えると同時に、今後の彼の貴重な貢献に期待しています。

さらに、様々な地域から新たに選出された国際議会議員全員に祝意を表したいと思います。彼らの運動への献身と奉仕は、私たちの使命を強化し、世界的な影響力を拡大する助けとなるでしょう。

2025年2月11日から14日まで、ケララ州コバラムで待望の国際次期理事サミットが開催されます。このイベントは、私たちのリーダーシップ育成の要であり、世界中から代表を迎えることを心待ちにしています。このサミットは、私たちの組織を前進させるための戦略的な議論、協力、アイデアの共有のための重要なプラットフォームとなるでしょう。

先月、私は、国際書記長ジョースとともに、チェンナイYMCAで開催されたインド地域オリエンテーション・ミーティングに出席する機会に恵まれました。プログラムを主催したマドラスYMCAの圧倒的なサポートとホスピタリティを目の当たりにし、本当に勇気づけられました。

さらに、中部トラバンコールと南西区のさまざまなクラブと区レベルのイベントに参加する機会がありました。私たちの運動の献身と活力を反映し、会員の間になんか新たなエネルギーと熱意を感じることができました。これらの交流は、YMIがより強く、より影響力を増し、その使命において、ますます団結しているという私の信念を再確認させました。

今月は「断食の時(TOF)」月間であり、無私、寛容、連帯の時として特別な意味を持ちます。TOFの取り組みは、まさにワイズメンの精神を体現しています。

皆さんには、食事を2、3食抜いて、その分をTOFプロジェクトに寄付することをぜひ検討していただきたいです。この計画は、特に国連の持続可能な開発目標に沿った分野で、世界中の地域社会に目覚ましい影響を与えています。皆さんの小さな犠牲が、恵まれない人々を向上させ、地域社会に力を与え、より良い未来のための資源を提供する、人生を変えるプログラムに変わるのです。

カリフォルニア州で最近発生した山火事による壊滅的な被害を深く悲しんでいます。この災害により、多くのクラブ会員が深刻な影響を受けています。悲劇的に家を失ったヘンリー・ワルサー戦略2032チーム委員長をはじめ、被害に遭われたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

これを受けて、米国地域は、被災者を支援するために資源を動員し、資金を調達しています。国際的な運動として、私たちは、同胞であるワイズメンやウイメンウィメンと連帯し、この自然災害で被災した人々を支援するため、可能な限りの援助を提供します。私たちは、困っている人々にタイムリーで実質的な援助を提供できるよう、これらの救援活動に惜しみなく貢献するよう会員に呼びかけます。

私たちは、2025年の旅を続けますが、私たちの使命である奉仕、リーダーシップ、地域社会のエンパワーメントに全力を尽くし続けましょう。私たちは、共に意義ある変化を生み出し、より思いやりのある、より強靱な世界を築くことができます。

ワイズメンズクラブ国際協会への献身と奉仕に感謝します。

団結、力強さ、目的を持って、立ち上がり、輝き続けましょう。

奉仕の精神をもって。



A・シャナヴァスカーン

国際会長



国際書記長
ジョース・ヴァルギース

ホリデーシーズンも終わり、北半球では日が短く寒い日が続きます。「冬眠」の誘惑が強いこの時期は、アクティブに活動することが大切です。幸いなことに、YMIでは、今月中も皆さまとつながりを保ち、私たちの使命に貢献できるよう、さまざまな方法を用意しています。

例えば、TOF (Time of Fast: 断食の時) チャレンジに参加し、その月に少なくとも1食を抜き、それに相当する費用をプログラムに寄付することを検討してみてください。TOFは、YMIの最も古く、最も影響力のある国際的取り組みのひとつで、YMIとYMCAのプロジェクトに毎年約10万スイスフランが配分され、世界各地の社会的弱者のコミュニティに持続可能で前向きな変化をもたらしています。詳しくは、[TOFパンフレット](#)と昨年度のTOF活動の[ハイライトビデオ](#)をご覧ください。クラブは、2月の強調月間中にTOFを支援し、TOFに対する認識を高めることをお勧めします。また、応募資格の条件を確認した上で、3月15日の締切前に[TOF資金を申請](#)することをご検討ください。

また、新型コロナウイルスの大流行を受けて2020年に導入された革新的な「世界を癒そう (HTW)」プログラムも称えます。このプログラムは、組織の協力体制を促進し、地域レベルでも世界レベルでも、悲しいことに頻発する危機への迅速な対応を促すものです。HTWのために集められた資金により、私たちは、迅速に行動し、一刻を争う状況に援助を届けることができます。皆さまの募金活動に、ぜひHTWを加えてください。

今月は、2月11日から13日までインドで第5回次期理事サミットが開催されます。シャナヴァスカール国際会長とインドの指導者たちの寛大さと努力に感謝します。このサミットのコーディネーターだけでなく、参加者に現地のYMIの家族を訪問したり、インドのクラブ生活を直接体験したりするまたとない機会を提供してくれたことにも感謝します。彼らのたゆまぬ努力のおかげで、50名近い参加者にとって素晴らしいイベントになることが約束されました。

2月は、毎年恒例の国際選挙の結果を発表する機会でもあります。今年の参加率は、全地域で比較的均等で、投票資格のあるクラブの約80%が投票しました。選出された候補者が発表され、国際ウェブサイトの[こちら](#)でご覧いただけます。次期国際会長に就任したヨハン・ウィルヘルム・エルトヴィクをはじめ、すべての次期指導者に心からの祝福を贈ります。

2月22日と23日にオンラインで開催される予定の年央会議(MYM)は、これらの成果をさらに確認するものとなります。MYMは、国際執行役員、国際議員(立法協議会代表者)、国際事業主任、各種委員会・タスクフォース・チームの委員長をはじめとするYMIの国際的リーダーたちが、この半年間の活動の最新情報を共有し、後期の計画を立て、2025/26年度を展望するための重要な場となります。

最後に、国際会費を2月28日までに送金するよう、すべてのクラブにお知らせします。クラブは、効率的な会員管理のため、iMISプラットフォームを通じて会員数を報告するよう奨励されます。これにより、国際本部はタイムリーに請求書を発行することができます。銀行規制を遵守し、明確にするため、支払いは、国際本部が発行する請求書と一致させる必要があります。

YMIの活動やその他の有意義な取り組みに満ちた素晴らしい2月となりますように。ここジュネーブでは、より長く、より明るく、より暖かい日々到来をすでに心待ちにしています。



ジョース・ヴァルギース
国際書記長



おめでとうございます。ヨハン・ウィルヘルム・
エルトヴィク 2025/26YMI次期国際会長

編集長から

編集長に、国際会長ニュースに関するあなたの
考えやアイデアをお知らせください。
3月の強調月間テーマは、地域奉仕(CS)と
グリーンプロジェクトです。

以下をクリックして、2月
15日までに記事を投稿
してください。

[編集長へ](#)



TOF国際事業主任から、献金 増額のお願い

TOF促進信国際事業主任 チャン・テフン



親愛なるワイズメン、ワイズウィメンのみなさま、

韓国のTOF促進国際事業主任の、チャン・テフンです。新年、そしてYMIの下半期を迎え、皆さまにご挨拶できることを大変嬉しく思います。2025年に希望と幸せがありますように。2月はTOF強調月間であり、このYMIの重要なプログラムに関するメッセージと情報をお伝えできることを幸せに思います。

ご存じのように、世界中で戦争が勃発しています。紛争が絶えない場所もあります。さらに、さまざまな自然災害が頻発するようになってきました。より多くの難民、より多くの犠牲者、より脆弱で社会から疎外された人々がいます。これらの人々は、私たちの支援と救援活動を求めています。憂鬱で困難な状況にもかかわらず、幸いなことに、YMIの使命に献身し、支援を決意しているYMIのリーダーがたくさんいます。個人的な困難があろうとも、「隣人を自分のように愛せよ」といったイエス・キリストの教えを守り、「ワイズメン精神」を守り続けています。私たちは、全ての人のためにより良い世界を築こうと努力していますので、困っている人を無視することはできません。

伝統的に、TOFの資金は、クラブ会員が1食か2食を控え、その食事代に相当する金額をプログラムに寄付することで調達されてきました。私たちは、毎日3食安心して食べられることを覚え、多くの人々にとってはそれが贅沢であるという事実を思い出し感謝しましょう。私たちの食事は1年間で1,095食分となります。考えてみてください！あえて言うなら、1年に2食(年間消費量の0.2%)を抜くことを考えてはどうでしょう。そうすることにより、生活に支障をきたすことも、身体に影響を与えることもなく、社会にインパクトを与え、奉仕をする力を強めることができます。伝統的な方法でなくとも、あなた自身のアイデアと寛大さによって、TOFに寄付してください。1年を通して、あなた、あなたの家族、そしてあなたのクラブに祝福がありますように。

どうぞよろしくお願ひします。

TOF国際事業主任
チャン・テフン

TOF 献金目標 (スイスフラン)

地域	アフリカ	アジア 太平洋	カナダ・ カリブ	ヨーロッパ	インド	韓国	ラテン アメリカ	米国	合計
地域会長目標 24/25	1,250	45,000	6,000	50,000	13,000	30,000	2,000	12,000	159,250
国際会長目標 24/25	1,250	45,000	6,000	50,000	13,000	30,000	2,000	12,000	159,250
地域会長目標 23/24	1,100	40,000	5,500	43,306	12,000	27,500	922	3,300	133,628
国際会長目標 23/24	1,100	55,000	5,500	71,500	11,000	27,500	2,200	11,550	185,350
実績 22/23	414	37,531	1,576	39,369	4,028	21,908	838	9,248	114,912

完了報告のあったTOFプロジェクト (2024/2025)

プロジェクト 番号	プロジェクト名	国	補助金
TOF 20-3	誰一人取り残さない、高齢者のウェルビーイングの発展	ロシア	15,000
TOF 20-6	学校と住宅のリノベーション	ラオス	20,000
TOF 20-8	貧困地区の子供たちのためのリーダーシップトレーニング	ウルグアイ	11,000
TOF 21-8	パンデミック中の女性と若者の支援	チリ	14,497
TOF 23-1	適応のための環境回復	カメルーン	7,500
TOF 23-8	農村部の学校における質の高い教育	インド	5,000

2024/2025 TOF プロジェクト一覧 (CHF 105,000)

プロジェクト 番号	プロジェクト名	国	補助金
TOF 24-1	とうもろこし製粉施設	ザンビア	15,000
TOF 24-2	YMCA 教育支援とウェルネス・プログラムの充実	ジンバブエ	10,000
TOF 24-3	長期不登校者への対応	日本	15,000
TOF 24-4	モラトゥワコミュニティのためのコンピュータ教育	スリランカ	5,000
TOF 24-5	YMCA グローバル平和・エコロジーセンター	韓国	15,000
TOF 24-6	ワイズメンブレッジ	インド	15,000
TOF 24-7	疎外された女性のための技能訓練	インド	15,000
TOF 24-8	山火事被災者の支援	チリ	15,000

YMIのTOF

主にYMCAが運営する開発活動を支援する国際奉仕活動の1つで、この基金の原則は、会員が食事を抜き、それに相当する金額を寄付することです。2月は、TOFの断食と募金活動に充てられますが、もちろん寄付はいつでも集めてもかまわず、受け付けもしています。世界YMCA同盟と各国のYMCA同盟との連携により、多くの国で教育や自助のプロジェクトに資金が提供されています。

TOFのプロジェクトは、国連の「[持続可能な開発目標 \(SDGs\)](#)」の少なくとも1つに沿ったものでなければなりません。

出典：[ABC of Y's Men International](#)

目的

- YMIの年間募金プログラム
- YMCAおよびYMIクラブによって実施される、地域社会および世界における持続可能でインパクトのあるプロジェクトのために使用されます。
- TOFのプロジェクトは、国連の「[持続可能な開発目標 \(SDGs\)](#)」の少なくとも1つに沿ったものでなければなりません。

方法

例年、2月にクラブ会員は、全員が1食(年間消費量の約0.1%)を断ち、その食事額に相当する金額を寄付することが求められています。今期(2024/25)は、さらに1食(0.2%)抜くことを提案いたします。

国際会長裁量ファンド

TOFには、自然災害や予期せぬ人道的危機の被災者に、国際会長の要請に応じて迅速に救援金を提供することも含まれています。災害ごとに最大5,000スイスフラン、年間最大15,000スイスフランの支援が可能です。

プロジェクトの応募条件

グッドスタンディングのYMIクラブ、YMCA、および世界的に認められたYMCA関連の組織は、YMIのウェブサイトからアクセスできるオンライン申請フォームを使って、年に1回、最高15,000スイスフランまでの資金を申請することができます。

TOF カレンダー

9月15日：オンライン申請受付開始

3月15日：申請締め切り。オンライン申請フォームの非アクティブ化

8月30日：申請者に審査結果通知

金持ちは、なぜ愚かなのでしょうか？

ビリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任



ルカによる福音書12章20節で、イエスは、金持ちを愚か者と呼び、その人は、神に対して豊かではないと言われました。神に対して豊かでないとはどういう意味でしょうか。

その答えは、例え話の中に直接的に示されています。17-19節では、「私」と「私の」という言葉を10回数えることができます。問題は、金持ちが自分のことしか話さないことなのです。他の人々や神を受け入れる余地がないことなのです。金持ちは、完全に孤独なのです。良い人生の前提は、神や仲間と共に生きることなのです。

ワイズメンズクラブ国際協会では、私たちの富の一部を、困っている人々を助けるために使おうとしています。ですから、神の助けによって、私たちは、世界をより住みやすい場所にするために、さまざまな方法で努力しているのです。



神は、この農夫にとっても良いリンゴの収穫を与えてくださいました！

神は、この農夫にとっても良い麦の収穫を与えてくださいました！



韓国地域ニュース

チョンジュ(全州)ロイヤルクラブがチョンジュワースウィズクラブのスポンサーとなり、次世代にインスピレーションを与え、新たな始まりを印象づけています。(イ・スンヨンクラブ会長)

2024年12月6日、チョンジュワースウィズ・ワイズメンズアンドワイズウィメンズクラブが正式にチャーターされ、ワイズメンズクラブ国際協会と韓国チョンブク(全北)区にとってエキサイティングな節目を迎えました。尊敬するチョンジュロイヤルクラブ(オ・ソンクラブ会長)がスポンサーを務めるこの新しいクラブは、若い世代のエネルギー、ビジョン、コミットメントを体現しています。

チョンジュワースウィズクラブは、22歳から35歳までの活気あふれる若者で構成され、チョンジュ部部長のオ・チャンソク、次期部長のチェ・ヨンソン、韓国エリア広報主任のファン・ビョンスなど、著名な指導者や、各区のクラブ役員のコメットたちが参加しています。このダイナミックなグループは、ワイズメンズクラブ国際協会の使命に新鮮な視点と熱意をもたらしてくれることでしょう。チョンジュロイヤルクラブは、2021年9月4日にチャーターされ、38名の会員を擁し、継続的な奉仕活動で高い評価を確立しています。例えば、社会的弱者である高齢者への食事支援、地元団体への毎月の食料提供、毎年恒例となっているキムチ作りと分配を率先することです。祝賀ムードに華を添えたのは、パク・ジョンアエリア会長がチョンジュワースウィズクラブに韓国エリアの支援基金を贈呈したことでした。彼の振る舞いは、青少年に力を与えることの重要性を強調し、ワイズメンズクラブ国際協会の使命の継続を確実にするために「青少年が答えを握っている」という彼の信念と一致しました。

チョンジュワースウィズクラブの創立は、ワイズメンズクラブ国際協会の明るい未来を象徴するものであり、世代間の架け橋となり、奉仕活動を鼓舞し、リーダーシップを育むものです。この節目は、チョンジュロイヤルクラブの永続的な遺産と、未来のリーダーを育成するというコミットメントを強調するものです。



パク・ジョンアエリア会長がイ・スンヨンクラブ会長に支援金を贈呈



チョンジュワースウィズクラブのチャーターナイト

プサン(釜山)セントラル国際ユースクラブを韓国プサン-ウスサン-キョンジュ区が歓迎

2024年12月21日、韓国プサン広域市は、プサンセントラル国際ユースクラブの発足という節目を迎えました。シン・ヒョンカン区理事とイ・ヨンギルプサセントラル中央クラブ会長が率いるこの取り組みは、ユースに前向きな価値観と社会的責任感を植え付け、有能な指導者と地球市民になる力を与えることを目的としています。

プサンセントラル国際ユースクラブは、18名の熱心なメンバーで設立され、パク・ソンジュンがチャーター会長に就任しました。クラブの使命は、豊かな社会奉仕の経験を提供し、ユースをワイズメンに育成させることです。オリエンテーションと親密な交流を通じて、プサンセントラルクラブは、リーダーシップの育成、チームワーク、コミュニケーション、社会奉仕、環境維持、文化交流、国際的なネットワーク作りなどの指導を行っています。

このパートナーシップは、ワイズメンズクラブ国際協会の模範的なクラブの一つとして認められている、プサンセントラルクラブの印象的な遺産の上に構築されています。この1年間、クラブは、ダイナミックな成長と拡大を示してきました。会員数は19名から40名へと2倍以上に増加し、会員の平均年齢は68歳から58歳へと低下しました。

プサンセントラルクラブの奉仕活動へのコミットメントは、パン作り、ヘアデザイン、訪問、一人暮らしの高齢者のためのカウンセリングサービスなど、幅広い地域活動に表れています。こうした取り組みは、地域社会に有意義な影響を与えようとするクラブの献身を象徴しています。

プサンセントラルクラブとプサンセントラル国際ユースクラブの相乗効果により、ワイズメンズクラブ国際協会の使命を推進する活気ある活動が期待されます。共にリーダーシップを育み、チームワークを促進し、文化的・国際的な交流の機会を創出します。このコラボレーションは、両クラブの持続可能な成長と明るい未来に向けた有望な一歩です。

私たちは、このパートナーシップによるインパクトのある貢献を、今後何年にもわたって目撃できることを楽しみにしています。





プサンセントラル国際ユースクラブのチャーターナイト

ワイズメンズクラブ国際協会韓国エリア:2024/25 年度年央大会&新年祝賀会

2025年1月4日(土)、ワイズメンズクラブ国際協会韓国エリアは、2024/25年央大会を開催しました。韓国・テグ(大邱)の、七国信用組合本部で開催されたこのイベントには、リーダーやメンバーがダイナミックに一堂に会しました。この年次大会は、昨年の成果を振り返るとともに、2025年に向けて刺激的な方向性を打ち出す重要な場となりました。

パク・ジョンアエリア会長の先見的なリーダーシップの下、韓国エリアは「縮小から拡大へ」というテーマを掲げ、「目覚めよ、そして正しく築き上げよ!」という力強いスローガンを掲げました。2024/25年度年央会議は、この指針に基づくビジョンのもと、活気あるクラブの成長を促進し、メンターシップや意思決定への積極的な参加を通じて若いリーダーに力を与えるなど、次年度の主要目標を強調しました。

会議には、エリア会長トロイカ、元エリア会長、区理事、次期区理事など、幅広い分野の指導者や会員が参加しました。また、ヨス(麗水)、クアンジュ(光州)、チョンジュ、プサンなどの部やクラブの代表も、活気あふれる会議に貢献しました。

様々な魅力的なプレゼンテーションやアクティビティが行われました。区、常任委員会、特別委員会、奉仕委員会からの報告、緊急災害救済委員会と、エリアBF事業主任からの最新情報、海外医療奉仕、2024ドバイユースコンボケーション、平和行進などの取り組みについての洞察は、組織の影響の幅広さを示しました。

特に、ワイズメンズクラブ国際協会韓国エリア ABR 委員会は、「目覚めよ、正しく築き上げよ」というモットーにちなんで名付けられ、韓国エリア内の組織の有効性とリーダーシップ開発を強化するために設立されました。会員から資金を募り、運営能力の向上、デジタル化、クラブの設立と拡大、リーダーシップアカデミー、優れた貢献に対する表彰など、様々なプロジェクトを支援することを目的としています。さらに、タイムリーな指導者の任命やシンクタンク活動を推進し、組織の成長と持続可能性を確保しています。

また、部とクラブの模範的な運営事例が紹介され、参加者全員に貴重な教訓とインスピレーションを与えました。

イベントは、2024/25 年をワイズメンズクラブ国際協会韓国エリアにとって画期的なすることを共有するコミットメントで締めくくられました。新進リーダーを育成し、組織の範囲を拡大することで、メンバーは、地域社会とそれ以外の世界に意義ある変化をもたらすという共通の使命を再確認しました。共にワイズメンズクラブ国際協会のため、明るくインパクトのある未来を築いていきましょう！



韓国地域：2024/25 年央大会 & 新年祝賀

YMI 最新情報

世界の各地から

ヨーロッパ地域



2025年1月25日、スペインのマドリッドでヨーロッパYMCA同盟とワイズメンズクラブ国際協会ヨーロッパ地域の代表者会議が開催されました。会議では、両組織の協力関係の強化について話し合われました。

インド地域



ラアス・アル・ハイマのRAK・ロイヤルズワイズメンズクラブをワイズメンズクラブ国際協会ファミリーの一員に歓迎します！中東区、おめでとうございます！



アエリ・ヒルズでインド地域ユースキャンプを開催しました。地域内の9区から40名の若いリーダーたちが参加しました。



インド地域は、マドラスYMCA主催のもと、次期部長と次期理事のための包括的な研修プログラムをチェンナイにて開催しました。